



紋原・シコクフクジュソウ

エコツアー「諸塚でやま学校しよう！」第168回 猟師さんと、獣道の山歩き&調理講座 森の恵み ジビエを体感する 2日間

現役の猟師さんと森を歩き、わずかな痕跡から生き物の気配をたどります。貴重な知識を学んだあとは、ジビエの調理講座。「自宅で出来る」をポイントに、美味しく食べるコツを学び、絶品な森の恵みを味わいます。

実際に命と向き合う猟師さんと、ジビエを体感する2日間。猟に興味がある方、ジビエが好きな方、食育を実践したい方におすすめです。

申込期限 1月9日(木)

ジビエの
お土産付き

旅の詳細

集合：1月18日(土)13時

解散：1月19日(日)11時

定員：7名※先着順

最少催行人数 5名

※現地ガイド同行有

会場：諸塚村内

代金：

Aプラン 18,500円
(夕・朝・宿泊「樹の里」込)

Bプラン 10,000円
(夕食込) 宿泊先別途手配可

Cプラン 8,000円
(体験のみ) 宿泊先別途手配可

※料金は全て税込です。
※小学生までのお子様の代金はお問い合わせください。



エコツアー「諸塚でやま学校しよう！」第169回
森の古民家泊！田舎暮らし満喫コース

打っ!打っ!食べる! しいたけと蕎麦で美味しい2日間

豊かな諸塚の森で、しいたけを採ってコマ打ち体験。
翌日打つのは蕎麦!打って打って、美味しくいただきます。

旅の詳細

集合：2月22日(土)13時

解散：2月23日(日)11時

定員：12名※先着順

最少催行人数 7名

※現地ガイド同行有

会場：諸塚村内

代金：一般 7,000円

※料金は全て税込です。
※相部屋をお願いする場合がございます。
※お子様・日帰りの代金はお問い合わせください。

申込期限 2月13日(木)

お申込・詳細はコチラ [TEL] 0982-65-0178 <http://morotsuka-tourism.jp>



(発行元) 送付をご希望の方、送付中止をご希望の方は、下記までお知らせください。

一般社団法人 諸塚村観光協会 まちむら応縁倶楽部

TEL:0982-65-0178 FAX:0982-65-0189

〒883-1301

ecom@vill.morotsuka.miyazaki.jp

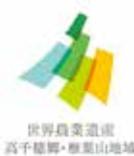
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代 3068 しいたけの館 21 内



twitter



facebook



世界農業遺産
高千穂郡・摩耶山地域
World Agricultural Heritage Site

しぜんと、
つながる。



諸塚村
Morotsuka Vill.

バックナンバーもカラーで公開中!

昔日のリアルやま学校

コラム連載 第3回 『昭和30年代(前半)の年末』

尾形

私が小学校に入った頃は、クリスマスの行事も定着していなくて「米国辺りではサンタさんがプレゼントを持って来てくれるらしい？」位の認識でした。いよいよ24日を迎える頃には、「上級生がサンタさんは居らん。あれは親がくれるっつゃが」等々教えてくれるのですが半信半疑で眠りについたものでした。

朝1番に枕元を見ると、確かにサンタさんの送り物が届いていましたが、中身は干し柿と黒砂糖でした。サンタさんも北欧での干し柿作りは大変だったと思います。

クリスマスが過ぎると、楽しみは餅つきになります。たいてい暮れの28日に搗いていました。我が家には、当時としては珍しい餅つき器がありました。ガソリンエンジンにベルトを掛けて廻すものでした。たいてい、5戸が集まって1日掛かりの大仕事です。餅米を上から入れて杓文字で押すと、出口からクネクネと餅が出てきます。未だ完全に溶けていなくて、それを男衆が臼に移して杵で搗いていました。子供達は邪魔になると怒られながらも、時々不出来の餅が口に入り嬉しい1日でした。

その他の遊びは、コマ回しや地獄谷(空き地に図をかいて円の中にいる人達が守り、外に入る人達が攻め)。地獄谷は10人位の人が居ないと面白くない遊びで、すぐに汗をかくような激しい動きをしていました。

今になって思い返したら、当時の思い出にはセピア色が掛かって入るような気がします。そしてあんな時代が本当にあったんだと不思議な気持ちにもなります。不便で物も少ない時代でしたが、それが当たり前と思い過ごしていました。それから年を追う毎に文明の波が押し寄せて来て、諸塚にもテレビ、洗濯機、冷蔵庫等の電化製品が入って来ましたし、生活道も次第に整備されて便利になって来ました。



▲昭和、雪の諸塚



▲今でも餅つきは楽しいイベント

VIEW SPOT

国道503号線から、「森の古民家 やましぎの杜」へ上がっていく途中に広がる景色。山裾が十重二十重に折り重なります。こんな絶景が見られるこの場所は、展望台でも公園でもない普通の道。どこの木がどのタイミングで伐採されるかで見える景色が変わっていきます。その都度目を見張る新たな感動の絶景に出会えるなんて、どれだけ贅沢なんですか。林業に携わる皆さん、ありがとうございます!!

岩切



▲貴重な神楽の奉仕者

一幼いころに毎年通い続けた夏休みの思い出

子ども時代、夏休みには家族そろって桂へ帰省するのが定番の行事だった。帰って来ると祖父母だけでなく近所の人たちも歓迎してくれ、隣の家に年の近い子ども達もいてみんなで一緒に遊んだ。そんな楽しい思い出が心に残っている。高校3年の冬に、前回の大神楽奉納が行われた。めったに無い機会だからと誘われ、初めて見に来た。そこで神楽の魅力にふれて、大好きになった。

一桂神楽を残したい

夜神楽は一見同じ様な動きが続くようだが、見ていて飽きないし奥深いと感じる。神楽を継承する一員になりたいと思ったのも諸塚へ移り住む決断をした理由。立岩集落では、自分が唯一20代の奉仕者(ほしゃこ)。神楽の研究者から話を聞くと、昔ながらの形が残る全国でも希少な神楽だと知った。なんとかこの神楽を残していきたいと思いながら、大神楽奉納に向け秋から週2回の練習を重ねている。

奈良県出身 22歳

高校を卒業後、母の故郷である諸塚村立岩に孫ターン。標高600mを越える桂集落の祖父母宅から諸塚の自動車整備工場へ通う。

インタビュアー：田邊

諸塚中学校2年生の職場体験学習!!

ご報告

11月14日(木)~15日(金)の2日間、諸塚中学校2年生の甲斐太智さん、堀川友輝さんが、「どんこ亭」をメインとして、観光協会に職場体験に訪れました。

どんこ亭では、優しい?スタッフのアドバイスのもと、食材の切だし、お弁当詰めや配達、皿洗い、ランチバイキングのお手伝いなどをしてもらいました。また、諸塚村の特産品やどんこ亭をPRするため、「諸塚村の特産品紹介」、「どんこ亭バイキングのオススメ」というチラシも作ってもらいました。

二人とも、これらの体験を素直に受け入れ、真剣に取り組んでいました。仕事の大切さや厳しさ、一方で楽しさ等を感じ取っていただけただけなのであれば幸いです。非常に礼儀正しく、優しい感じのお二人との出会いは、意義深いものとなりました。機会があれば、観光協会、どんこ亭に遊びに来てくださいね。諸塚中学校様、貴重な体験のお時間をいただき、本当に有難うございました。



佐藤

EVENT in morotsuka 2020

1月25-26日(土・日)
戸下神楽

2月1-2日(土・日)
南川神楽(松原集落)

2月15-16日(土・日)
桂大神楽

3月1日(日)
諸塚山山開き

送迎バス(要事前申込)あり! 詳細はお問い合わせください。

やま学校 年間計画

1泊2食付き!
ゆったり滞在コース

2020年1月18日(土)~19日(日)
現役猟師さんの森ガイド!
山とジビエの2日間

森の古民家泊!
田舎暮らし満喫コース

2020年2月22日(土)~23日(日)
コマを打つ! 蕎麦を打つ!
もろつかを食べる!

古の技を知る!
日帰り体験コース

1月13日(月・祝)
糸紡ぎ体験者だけの番外編!
麻糸はた織り体験

ただいま、観光協会 HP「もろつかナビ」にて募集中!

ご報告

エコツアー「諸塚でやま学校しよう!」第164回

古の技を知る!日帰り体験コース

“世界にひとつだけの和紙”を作ろう!

2019年10月12日 開催

宮崎県と福岡県からお集まりいただき、和紙漉き体験を行いました。ハガキでの溜め漉きから始まり、A3サイズの流し漉きで練習したら、いよいよ本番。本格的な道具で、大判サイズの流し漉きにチャレンジです!

バランスを取ったり、水を扱うことが難しい作業でしたが好きなだけ漉いていただきました。当日は、朝日新聞の記者さんにもお越しいたごき、10月14日の紙面に掲載していただきました!お越しくださった皆様、ありがとうございました。



ご報告

エコツアー「諸塚でやま学校しよう!」第165回

森の古民家泊!田舎暮らし満喫コース

集落お散歩と黒岳登山、村の秋祭りを体験する2日間

2019年10月26-27日 開催

初日は、フォレストピア最先端集落サミットのみなさんと一緒に、「フットパス」を開催。地域の人じゃないと通らないような、レアな小道をお散歩。森の古民家「桜のつぼね」から「やましぎの杜」へ移動し、夕食の準備に取り掛かります。五右衛門風呂やかまどは、薪の火で。広い土間から立ち昇る白い湯気はとても暖かそうで、郷愁を誘う光景でした。

2日目は、早起きをして朝食とお弁当の用意。途中、村の防災無線から流れてくるラジオ体操を一緒にやってみたり。和やかに時間が進みます。準備を終え、今回のメインイベント、諸塚村最高峰の黒岳登山へまいります。紅葉はまだ訪れていなかったのが残念でした。黒岳を降りて、みそ玉のお味噌汁とお弁当をいただいて、麓の小原井集落の秋祭りへ参加します。不思議な縁の出会いや地元の方とふれあい、ついに解散の時間です。縁もゆかりもなかった人々が、諸塚村で仲良くなって繋がっていく、そんな幸せな光景に毎回立ち会わせていただけてることがとても光栄です。またのお越しをお待ちしております!



ご報告

エコツアー「諸塚でやま学校しよう!」第166回

1泊2食付き!ゆったり滞在コース

柚子づくしの2日間

2019年11月23-24日 開催

いつも何とかお天気が持ちこたえてくれるやま学校。今回も例に漏れず、柚子狩りの時だけは雨に降られずに済みました。森の古民家で柚子を取り、森の民宿 樹の里さんで柚子胡椒をはじめとした柚子の加工品づくりをたっぷり体験しました。梅の体験に続いて、ご友人を連れて来ていただき、ありがとうございました!



編集後記

令和元年も終わろうとしています、「去年今年貫く棒の如きもの」という高浜虚子の句があります。年が改まって変わらない物、変えてはいけないものがありますよね。 尾形

我が家のこの冬の必需品は水筒。出掛ける時にお茶を詰めるのはもちろんですが、家の中でもアウトドア用の高性能水筒が保温ポット代わりに活躍中です。エコアイテムオススメです!! 田邊

どんこ亭のベテランスタッフが12月で退職。19年もの長年にわたり、運営に尽力されました。

寂しい想いが半分、ゆっくりしていただきたいという想いが半分です。本当にお疲れ様でした。 佐藤

いろいろと起こりそうな予感がする2020! 諸塚の和紙プロジェクトをついに進めていきます。和紙の原料になるコウゾ・カジ・ミツマタを刈ってもいいよーという方、原料処理をやってみたいよーという方、ご連絡お待ちしております! 岩切